

平成17年8月18日

防災ボランティアの「お作法」ガイド 検討会メンバーの意見集約

内閣府防災担当

平素よりお世話になっております。

第3回防災ボランティア活動検討会后、メンバーのみなさまより「防災ボランティアの『お作法』ガイド(仮称)」に関していただきました意見を事務局でまとめましたので、ご報告いたします。

「防災ボランティアの『お作法』集」とさせていただきます。投票数では僅差となりましたが、検討会の議論でも多くの方が「ガイド」ではなく「集」と言われていたこと、「言いやすさ」を重視して、(案2)にさせていただきました。また、対案で「お作法」という言い回しが悪いとの意見もありましたが、一方で第3回検討会での議論で評価いただいたこと、「作法」ではなく「お作法」として、表現をやわらかくしたことから、タイトルとして使うことにいたしました。

なお、タイトルは内容を規定するものではありませんが、はじめて見た方が内容を的確に理解するための重要なメッセージを含んだものです。よって引き続き内外の皆様の意見を徹ししつつ、内容と同様に必要に応じて改善を図っていききたいと思います。

タイトルに関する検討会メンバーの意見整理

1	防災ボランティアの「お作法」集	<ul style="list-style-type: none">・ 弘中氏 (NPO 法人防災ネットワークうべ)・ 秦氏 (JFFW)・ 山本氏 (三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会)・ 村野氏 (大分県社会福祉協議会)・ 永易氏 (新居浜市社会福祉協議会)
2	防災ボランティアの「お作法」ガイド	<ul style="list-style-type: none">・ 高橋氏 (練馬区防災課)・ 洙田氏 (医師、衛生労働コンサルタント)・ 池上氏 (財団法人市民防災研究所、東京YWCA)
3	災害ボランティアの心得	名称が「作法」で、副題に規範、べからず等が入るとルールブック的な印象がさらに強くなってしまい、最初に意図したやわらかさが消えてしまう。ここはとくに凝るのではなく自然な形にすればいいと思う。(沢野氏(災害救援ボランティア推進委員会))

4	防災ボランティアの申し合わせ	「お作法」という言い回し自体がどうかと思います。(発行主体がどこかわかりませんが・・・) 対案としては～みんなで守りたいこと～あたりでどうかと思います。原案の「防災ボランティアの「お作法」ガイド」「お作法」集は、反対です(馬場氏(兵庫県社会福祉協議会))
---	----------------	---

副題は「～活動に参加するあなたへ、みんなでまもりたいこと～」とさせていただきます。「規範」「工夫」「べからず」をひらがなにすることで「やわらかい」表現になるとの意見もありましたが、別の言葉で言い換えることで「お作法集」の中身をわかりやすく表現することができると思います、上記の副題にいたしました。

副題に関する検討会メンバーの意見整理

1	ボランティア活動の規範、工夫、べからず集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秦氏 (JFFW) ・ 高橋氏 (練馬区防災課)
2	ボランティア活動のきはん(規範)、くふう、べからず	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中川氏 (時事通信) ・ 永易氏 (新居浜市社会福祉協議会)
3	これだけはまもろう！防災ボランティアのマナー	「お作法」という言い回し自体がどうかと思います。(発行主体がどこかわかりませんが・・・) 対案としては、「防災ボランティアの申し合わせ」～みんなで守りたいこと～あたりでどうかと思います。(馬場氏(兵庫県社会福祉協議会))
4	これだけはまもろう！防災ボランティアのマナー	弘中氏 (NPO 法人防災ネットワークうべ)
5	みんなで守りたいこと	名称が「作法」で、副題に規範、べからず等が入るとルールブック的な印象がさらに強くなってしまい、最初に意図したやわらかさが消えてしまう。ここはとくに凝るのではなく自然な形にすればいいと思う。(沢野氏(災害救援ボランティア推進委員会))
6	ボランティア活動のやくそく、くふう、べからず	洙田氏 (医師、衛生労働コンサルタント)
7	きはん(規範)、くふう、べからず～のころえ	村野氏 (大分県社会福祉協議会)

タイトル、副題だけでは「お作法集」を説明するものにはならないと判断し、お作法集の内容、「規範」「工夫」「べからず」の各項目をそれぞれ説明するために下記の文章をつけることにしました。

この防災ボランティアの「お作法」集は、ボランティアの方々が防災ボランティア活動を行う際に、知っていてもらいたい、あるいは知っておくとよい「ころがまえ」や「ころがけ」を、現場の経験を踏まえて提案してもらい、それをまとめたものです。したがって、現場の活動を「規制」する趣旨のものではありません。

ボランティア活動をする上でのころがまえを「規範(きはん)」としてまとめました。また、活動をしていくときに知っておくとよいアイデアを「工夫(くふう)」としてまとめました。そして活動をする中で、注意すべき最低限のマナーを「べからず」としてまとめました。

このお作法集に関については、幅広く募集し、さらに充実していきたいと考えています。特定のグループや個人が提案する類似目的の文書の投稿・提供も歓迎します。提案者名を明示したうえで並行掲載を行うものとします。

(以下の内容は、新潟県中越地震での防災ボランティア活動の調査結果を基に事務局が案を作成し、第3回防災ボランティア活動検討会(17年6月10日)を踏まえて、修正したものです。)